



はじめに

- [Cisco Prime Collaboration Deployment の概要 \(1 ページ\)](#)

Cisco Prime Collaboration Deployment の概要

Cisco Prime Collaboration Deployment は、Unified Communications (UC) アプリケーション管理を支援するアプリケーションです。クラスタの古いソフトウェアバージョンの新しい仮想マシンへの移行、フレッシュインストール、および既存クラスタのアップグレードなどを実行できます。

Cisco Prime Collaboration Deployment には、以下の 4 つの主要な高度機能があります。

- UC サーバで構成される既存のクラスタを新しいクラスタに移行する (MCS 7800 から仮想への移行、仮想から仮想への移行など)。
- 既存のクラスタ上での操作の実行 (8.6(1) 以降)。これらの操作の例には以下のものがあります。
 - アップグレード
 - バージョンの切り替え
 - 再起動
- 既存のリリース 10.x クラスタでのクラスタ内の IP アドレスまたはホスト名の変更



重要 このドキュメントで言及されているすべての IP アドレスは、IPv4 アドレス形式です。

- 新規 Release 10.x、11.x または 12.x Unified Communications クラスタのフレッシュインストール

Cisco Unified Communications Manager または IM and Presence Services の新規リリースにアップグレードまたは移行するには、このガイドと『*Upgrade and Migration Guide for Cisco Unified*』

『*Communications Manager and IM and Presence Service*』 (<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-guides-list.html>) を使用します。このガイドでは、アップグレードの計画に関する情報と、アップグレード前とアップグレード後の手順を説明します。



-
- (注) Cisco Prime Collaboration Deployment 機能は、特定のソフトウェアバージョンに対してのみサポートされます。各 Cisco Prime Collaboration Deployment 機能と互換性があるソフトウェアバージョンの詳細については、[アプリケーションとバージョンに対してサポートされているタスク](#)を参照してください。サポートされているアップグレードパスの詳細については、[輸出規制対象ソフトウェアと輸出規制対象外ソフトウェアのアップグレードパス](#)を参照してください。
-